

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会



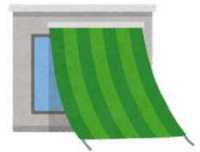
適切な暑熱対策を！

気象庁の予報によると今年の7～8月下旬の東日本における平均気温は平年より高く、降水量は平年並みか平年より多い見込みです。
生産性維持のために、家畜の過ごしやすい環境を整えましょう。

畜舎

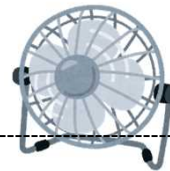
◎舎外

- ・遮光ネット・よしずによる日よけ、
- ・屋根への断熱材の設置、石灰乳の塗布



◎舎内

- ・換気扇、扇風機による送風＋畜体への散水



飼養管理

- ・密飼いを避ける
- ・生産適温域の確認

◎主な家畜の適温域

牛	育成牛	10～25℃
	泌乳牛	5～20℃
	肉用牛	5～25℃
豚	繁殖豚	10～25℃
	肥育豚	10～25℃
鶏	採卵鶏	20～30℃
	肉用鶏	15～25℃

暑熱ストレスは、摂餌量を低下させ生産性を低下させるだけでなく、疾病発症を引き起こす要因にもなります。家畜が快適に過ごせるように、畜舎内に温度計を設置するなど十分に注意してください。

★併せてハエ対策も行いましょう！

- ・こまめな除糞、通路などの清掃
- ・薬剤による殺虫・・・幼虫:IGR剤、成虫:殺虫剤、毒餌(ベイト剤)

飼料給与

- ・良質で消化率の高い飼料の給与
- ・清潔で冷たい水を十分に飲めるようにする
- ・必要に応じ、ビタミン・ミネラルの補給

家畜の様子がおかしいと思ったら、

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

夏季休暇における衛生管理の強化について

新型コロナウイルスの人への感染が世界的に継続し、我が国を含め各国で感染拡大を防止する措置がとられ、人・モノの移動が制限されている状況ではありますが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、多くの選手、関係者が来日していることを踏まえ、引き続き、我が国への家畜伝染病の病原体侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

- 1 口蹄疫、アフリカ豚熱の発生地域への渡航自粛
- 2 農場入口に畜産関係者以外の立入禁止看板を設置
- 3 人・車両の消毒の徹底
 - ◎専用衣服・長靴の着用、手指・長靴の消毒
 - ◎農場に出入りする車両の消毒、交差汚染防止
- 4 野生生物との接触を防止
 - ◎防護柵や防鳥ネットの定期的な見回りと破損部位の修繕
 - ◎農場周囲の除草、こぼれ餌の掃除をこまめに行う
 - ◎ネズミ、昆虫の駆除
- 5 毎日の健康観察、異常家畜を発見した場合の早期通報
- 6 口蹄疫、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ等の発生地域で製造された肉製品等の持ち込み禁止

口蹄疫特有の症状が疑われたら、直ちに通報を！

本年5月にモンゴルの牛で口蹄疫の発生が確認されました。

- ・39℃以上の発熱
- ・口・蹄などに水泡・びらん
- ・多量の泡沫性のよだれ
- ・泌乳量の低下、泌乳停止など

